

表 1 は年度別宅配便取扱個数の推移、また、表 2 は宅配便再配達率の推移を表している。これらの表は共に国土交通省が公表している資料に基づいている。

表 1 宅配便取扱個数の推移

年度	宅配便取扱個数（百万個）	対前年度比
2017	4251	1.06
2018	4307	1.01
2019	4323	1.00
2020	4836	1.12
2021	4953	1.02
2022	5006	1.01
2023	5007	1.00

出典：国土交通省 令和 6 年 8 月 23 日付の物流・自動車局物流政策課の報道発表資料「令和 5 年度宅配便等取扱実績関係資料」を基に作成。

表 2 実態調査に基づく宅配便再配達率の推移

調査年月	再配達率（％）
2017 年 10 月	15.5
2018 年 10 月	15.2
2019 年 10 月	15.0
2020 年 10 月	11.4
2021 年 10 月	11.9
2022 年 10 月	11.8
2023 年 10 月	11.1

出典：国土交通省 令和 6 年 12 月 6 日付の物流・自動車局物流政策課の報道発表資料別紙を基に作成。

問 1 (50 点) この 2 つの表から読み取れる、近年の宅配便と宅配便再配達の動向を述べよ。また、なぜそのようなになっているのか考察せよ。(500 字程度)

問 2 (50 点) この 2 つの表から読み取れる、将来の予想される課題と解決策について論ぜよ。(500 字程度)